



2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月22日

上場会社名 日本鑄造株式会社

上場取引所 東

コード番号 5609 URL <http://www.nipponchuzo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鷲尾 勝

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 池田 憲英

TEL 044-322-3751

四半期報告書提出予定日 2021年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	5,463	7.6	211		203	187.6	134	58.4
2021年3月期第2四半期	5,076	4.1	5		70		84	533.6

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 186百万円 (112.8%) 2021年3月期第2四半期 87百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	26.15	
2021年3月期第2四半期	16.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	19,214	10,822	56.3
2021年3月期	19,587	10,763	55.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 10,822百万円 2021年3月期 10,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		25.00	25.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	0.8	560	12.7	550	6.7	360	17.4	70.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更) (会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期2Q	5,135,150 株	2021年3月期	5,135,150 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2022年3月期2Q	3,692 株	2021年3月期	3,632 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期2Q	5,131,475 株	2021年3月期2Q	5,131,608 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2022年3月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「2022年3月期第2四半期連結累計期間業績予想との差異及び通期業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後のさまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(追加情報)	7
3. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における事業環境は、世界経済の回復基調のもと、国内企業の業況感も全体として大幅に改善しています。

当社の素形材部門では、機械製造業の回復による半導体製造装置向け鑄鋼品、工作機械向け鑄鉄品が増加、また、国内鉄鋼業の収益拡大を背景に製鉄所高炉改修で使用する部材や特殊鋼向け鑄型を順調に受注、出荷しました。一方で、超大型鉱山機械向け鑄鋼品は回復基調にありますが、在庫調整一巡後の需要待ちです。

エンジニアリング部門では、高速道路等の補修工事で使用する橋梁部品等の需要が安定し計画の受注残を確保していますが、売上は手持ち工事進捗のタイミングにより減少しています。

売上総利益は、原材料費高騰による当期のコスト増分は工場操業度上昇による生産性改善と外注加工内製化で回収、さらに資材費削減等の合理化推進により限界利益率が上昇し803百万円（前年同期比34.6%増）となりました。

以上の結果、経常利益は、203百万円（前年同期比187.6%増）の黒字となり、親会社株式に帰属する四半期純利益は134百万円（前年同期比58.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、主として受取手形及び売掛金の回収が進み、19,214百万円となりました。

負債は、長期借入金の減少等により8,392百万円となりました。また純資産は親会社株主に帰属する四半期純利益の増加とその他有価証券評価差額金の増加により10,822百万円となり、自己資本比率は56.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、本日公表しました「2022年3月期第2四半期連結累計期間業績予想との差異及び通期業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

エンジニアリング部門で下期売上を見込んでいた大型プロジェクト案件向け橋梁部品の出荷がプロジェクトの工程変更により、2022年度以降に遅れる見込みとなったため売上高を修正いたします。

通期の利益については、売上高の減少影響と下半期に原材料高騰影響が拡大するマイナス要因を鑑み予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	489	338
受取手形及び売掛金	3,978	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	3,534
電子記録債権	780	775
製品及び仕掛品	1,736	1,986
原材料及び貯蔵品	622	652
その他	56	68
貸倒引当金	△3	△1
流動資産合計	7,660	7,353
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,184	7,184
その他(純額)	3,730	3,623
有形固定資産合計	10,914	10,807
無形固定資産		
93	93	129
投資その他の資産		
その他	919	923
貸倒引当金	△0	—
投資その他の資産合計	919	923
固定資産合計	11,927	11,861
資産合計	19,587	19,214

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	808	813
電子記録債務	1,044	967
短期借入金	1,790	1,890
未払法人税等	131	40
賞与引当金	179	181
役員賞与引当金	5	—
その他	646	418
流動負債合計	4,605	4,311
固定負債		
長期借入金	440	270
再評価に係る繰延税金負債	2,141	2,141
役員退職慰労引当金	40	37
PCB処理引当金	209	222
退職給付に係る負債	1,352	1,374
その他	36	36
固定負債合計	4,218	4,081
負債合計	8,824	8,392
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,627	2,627
資本剰余金	524	524
利益剰余金	2,789	2,794
自己株式	△4	△4
株主資本合計	5,937	5,943
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57	110
土地再評価差額金	4,768	4,768
その他の包括利益累計額合計	4,826	4,879
純資産合計	10,763	10,822
負債純資産合計	19,587	19,214

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	5,076	5,463
売上原価	4,480	4,659
売上総利益	596	803
販売費及び一般管理費	602	592
営業利益又は営業損失(△)	△5	211
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	3
投資有価証券売却益	0	2
PCB処理引当金戻入額	69	—
その他	9	4
営業外収益合計	81	10
営業外費用		
支払利息	5	4
PCB処理引当金繰入額	—	13
その他	0	0
営業外費用合計	5	18
経常利益	70	203
特別利益		
子会社清算益	15	—
特別利益合計	15	—
特別損失		
固定資産除売却損	15	5
特別損失合計	15	5
税金等調整前四半期純利益	70	198
法人税、住民税及び事業税	24	27
法人税等調整額	△38	37
法人税等合計	△14	64
四半期純利益	84	134
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	84	134

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	84	134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	52
その他の包括利益合計	3	52
四半期包括利益	87	186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	87	186
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、「収益認識に関する会計の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、製品の国内販売において、出荷時から顧客への製品移転時までの期間が通常の間である場合は、出荷時点で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替を行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これにより、その他有価証券のうち時価のある株式については、従来、期末決算日前1ヶ月の市場価格等の平均に基づく時価法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、期末決算日の市場価格等に基づく時価法に変更しております。

(会計上の見積りの変更)

当社は、当第2四半期連結会計期間において高濃度PCBを含有する照明用安定器が新たに見つかったため、今後処理が必要な費用の見積りの変更を行いました。これに伴い、当第2四半期連結会計期間において、従来の見積り金額と今回の見積り金額との差額13百万円をPCB処理引当金繰入額として営業外費用に計上しました。

これにより、当第2四半期連結累計期間の経常利益および税金等調整前四半期純利益は13百万円減少しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は限定的で大きな影響は生じていません。翌連結会計年度についても状況に大幅な変更はないと仮定し、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを実施して会計処理に反映しております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 品種別製品生産実績

(百万円)

品種別	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	前年同四半期比 (%)
素形材	3,243	9.9
エンジニアリング	1,460	△19.4
その他	233	131.0
合計	4,937	1.5

(注) 1 金額は製造原価によっております。

2 上記金額には消費税等は含んでおりません。

② 品種別製品受注状況

(百万円)

品種別	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) 受注高	前年同 四半期比 (%)	当第2四半期連結会計期間末 (2021年9月30日) 受注残高	前年同 四半期比 (%)
素形材	3,230	△4.7	3,047	5.4
エンジニアリング	2,568	△6.8	2,723	△0.4
その他	237	45.6	46	0.9
合計	6,037	△4.3	5,816	2.6

(注) 1 金額は販売価格によっております。

2 上記金額には消費税等は含んでおりません。

③ 品種別販売実績

(百万円)

品種別	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	前年同四半期比 (%)
素形材	3,261	10.0
エンジニアリング	1,978	2.3
その他	223	24.9
合計	5,463	7.6

(注) 上記金額には消費税等は含んでおりません。